

東北学院大学

教養学部
人間科学科

キャリア教養学科（田村高校出身）

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

高校3年生の時に、大学受験に失敗した時からです。理由は、大学受験リベンジとより深い勉強を4年制大学でしてみたいと思ったからです。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

英語の長文読解の仕方を学びたかったため、英語Ⅰ～Ⅶを履修しました。キャリアデザインの授業で、1年生の前期は文章の書き方を、後期からは本格的な編入対策として小論文、英語の勉強法を学びました。2年生の前期のキャリアデザインでは、小論文の授業が主となり書く力が鍛えられ大変ためになりました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

キャリアデザインの小論文対策の他に、2年生の5月から過去問を自分で取り寄せて、先生に添削していただきました。また、志望理由書を個別で先生に見てもらい、たくさんアドバイスをいただきました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

英語、小論文を特に頑張りました。1年生の時から「絶対合格する」という気持ちで取り組み始め、英語は単語学習・長文問題は毎日続けていました。文法は1年生のうちに「構文150」というのを使い、基礎を固めていました。小論文は、毎日オンライン新聞を読むのに加えて、過去問を個別に先生に添削していただいていたいました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

キャリアデザインの授業以外の教養科目の学習も、小論文対策になっていたと思います。聖母で学ぶことによって、教養を習得し問題を解決する力がつきました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

毎日、短い時間で集中して勉強に取り組むこと、しっかり寝ること、気が滅入ったときは先生やスクールカウンセラーや友達に相談することなどです。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①編入対策が充実しているため、聖母で頑張るという気持ちでした。

②モチベーションが高いまま勉強に取り組めました。

③第一志望に落ちてしまったため、非常に焦っていました。

④英語、小論文、面接ともに力を出し切れたため、合格できる自信がある状態でした。

Q. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

私は第一志望に落ちてしまいましたが、この挫折は非常に良い経験になったと思います。結果がどうであれ、編入学を目指し学んで得られたものは、価値ある貴重なものであり、後輩の皆さんも積極的にチャレンジしてみしてほしいと個人的には思います。

